



調査票D 胃がん検診で発見した胃癌患者の個票

注意

本票は他施設より情報回収する際の書式です。実際のデータ提出には使用できません。

データ提出は本学会ホームページの「全国集計Webシステム」よりお願いいたします。

・用語の定義は、胃癌学会編「胃癌取り扱い規約」(2017年10月改訂第15版)によって下さい。

・個票の取り扱いには、十分ご注意ください。

胃がん検診実施機関名：

1) 患者 a) 性別： 男 女

b) 発見時年齢 _____ 歳 ※システムへの転記の際は、5歳刻みでの年齢入力になります。

2) 検診 a) 対象： 地域 職域 その他

b) 一次スクリーニング法： X線造影 内視鏡 検体検査 重複

c) 検診実施年月日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

d) 検診受診歴： なし(初回受診※) 1年前受診 2年前受診 3年前受診 不明

※初回受診とは過去3年間に受診歴がない場合のことです。(自機関のみ)

3) 病巣部位 a) 部位(UML)： U UM MU M ML LM L 全体

b) 部位(壁在性)： 前壁 後壁 大彎 小彎 全周

※2つの部位にまたがる場合は、主な部位を選択して下さい

4) 肉眼分類 a) 基本分類： 0型(表在型) 1型 2型 3型 4型 5型

b) 0型(表在型)の亜分類：(a)で0型を選択した場合のみ

I IIa IIa+IIc IIb IIc IIc+III IIc+IIa III+IIc

III その他の組み合わせ

5) 治療方法 治療機関名：

a) 治療方法： 外科手術(通常の開腹術) 腹腔鏡下手術 内視鏡的治療 化学療法 無治療

その他 不明

6) 手術所見 a) 手術の種類：(5)治療方法で「外科手術」「腹腔鏡下手術」を選択した場合のみ

胃切除術 ポリープ摘除術(内視鏡的摘除は除く) 吻合術 単開腹 造瘻術 不明

b) 腫瘍の遺残(R)：(5)治療方法で「外科手術」「腹腔鏡下手術」を選択した場合のみ

RX R0 R1 R2 不明

c) 手術年月日：(5)治療方法で、「外科手術」「腹腔鏡下手術」「内視鏡的治療」を選択した場合のみ

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

d) 病巣の数： 単発 2個 3個 4個以上 不明

e) 大きさ(mm単位)：(※最も深達度の深い病変について記載してください) _____ mm

f) 進行程度：(※最も進行した病変について記載してください)

5)治療方法で「内視鏡的治療」を選択した場合、①～④は原則0とする

① CY0 CY1 CYX(不明)

② P0 P1a P1b P1c P1x PX(不明)

③ H0 H1 HX(不明)

④ N0 N1 N2 N3a N3b NX(不明)

⑤ T1a(M) T1b(SM) T2(MP) T3(SS) T4a(SE) T4b(SI) 不明

e) Stage分類： I II A II B III IV A IV B 不明

7) 総合所見

a) 深達度： M SM MP SS SE SI 不明

b) リンパ節転移の有無： N0 N1 N2 N3a N3b 不明

c) 遠隔転移の有無： なし あり 不明

※ただし組織が得られていなくても臨床的に遠隔転移が明らかな場合、(肝臓肺等)は遠隔転移ありとして下さい。

b) 組織分類：(主な組織型にチェックを付けてください)

pap tub1 tub2 por1 por2 por(1,2不明) sig muc 特殊型

不明

e) Stage分類： I A I B II A II B III A III B III C IV 不明

【参考】進行度

6) 手術所見 (Stage分類)

	M0		M1
	NO	N (+)	Any N
T1 (M, SM) / T2 (MP)	I	II A	IVB
T3 (SS) / T4a (SE)	II B	III	
T4b (S1)	IVA		

7) 総合所見 (Stage分類)

	M0					M1
	NO	N1	N2	N3a	N3b	Any N
T1a (M) / T1b (SM)	I A	I B	II A	II B	III B	IV
T2 (MP)	I B	II A	II B	III A	III B	
T3 (SS)	II A	II B	III A	III B	III C	
T4a (SE)	II B	III A	III A	III B	III C	
T4b (S1)	III A	III B	III B	III C	III C	

出典 / 「胃癌取扱い規約」日本胃癌学会編 (2017年10月)